

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
2	普通	アドバンス	生物基礎	3	菊澤
担当者(担当クラス)		菊澤(5組)			
この科目を履修するための条件や準備					
教科書・ノートを必ず用意すること。 体のしくみや生命現象に興味、関心をもつこと。					
この科目のねらい 目標					
生物の体のしくみや生命現象について理解を深め、探究心と科学的な自然観を身につける。					
具体的な指導方法					
生物の教科書に基づき、各単元のポイントを学習する。授業内容を補うプリントの配布や、副読本の利用で学数内容についての理解を深める。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
7 実教 生基 314 高校 生物基礎 新訂版			フォトサイエンス 生物図録(数研出版)／アクセス ノート 生物基礎(実教出版)		
定期考査(年間5回)・平常点(授業態度・提出物・宿題の取り組みなど)で総合的に判断する。					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで ※4. 5月の課題及び1学期期末考査後の補充授業で対応					
教科書	10～25・37P	第1章	第1節 生物の多様性と共通性	①多様な生物とその先祖 ②細胞の構造と働き	
			第2節 細胞とエネルギー	①代謝とエネルギー	
II. 1学期期末考査まで					
教科書	26～37P	第1章	第2節 細胞とエネルギー	②酵素 ③光合成 ④呼吸 ⑤ミトコンドリアと葉緑体の起源	
III. 2学期中間考査まで					
教科書	40～57・73P	第2章	第1節 遺伝情報とDNA	①ゲノムと遺伝子 ②DNA研究の歴史 ③DNAの構造	
			第2節 遺伝情報の分配	①細胞分裂とDNA	
IV. 2学期期末考査まで					
教科書	58～73P	第2章	第3節 遺伝情報とタンパク質の合成	①遺伝子とタンパク質 ②タンパク質の合成 ③遺伝子の発現	
V. 学年末考査まで					
教科書	76～87・113P	第3章	第1節 体内環境	①体内環境と恒常性 ②体液とその働き ③体液の調節～腎臓と肝臓～	